



## 今年2月、福岡・グランドハイアット福岡にて「第18回ブレースマイルコンテスト」表彰式が開催されました

矯正歯科専門開業医の全国組織である公益社団法人日本臨床矯正歯科医会(会長:野村泰世)では、2023年2月22日(水)、矯正歯科治療中の方を対象にした笑顔のフォトコンテスト「18回ブレースマイルコンテスト」表彰式を開催しました。今回、3年ぶりとなった対面での表彰式の様子を始め、受賞作品が選ばれるまでの道のりや受賞者の素顔などご紹介します。



第18回の表彰式冒頭で挨拶をする野村会長。

上・最初はステージの上で少し緊張気味の受賞者の皆さん。  
下・受賞者との記念撮影。今回はひときわ大きな花束が印象的でした。

### 応募作品に込めた想い、将来の夢……。受賞者それぞれの矯正歯科治療

2005年から始まった「ブレースマイルコンテスト」(以下、ブレスマ)は、矯正歯科治療に積極的かつ前向きに取り組む患者さんの笑顔に溢れた写真と、夢や希望にあふれたコメントの双方を審査の対象とするコンテストです。第18回となる今回の応募テーマは「さあ、笑顔を解き放とう!」。ブレスマ事務局には、全国の5歳から60歳という幅広い年齢層の方からテーマを表現した394もの作品が集まりました。

その中から厳正なる審査の結果、最優秀賞に輝いたのが、田中雲雀(ひばり)さん(16歳/兵庫)の『押忍』です。トロフィーや賞状を

背景にした凍々しいガッツポーズと笑顔が印象的です。そして、優秀賞には明るい色の浴衣をまとった我妻ゆきのさん(24歳/埼玉)の『私の夏休み~2022~』が、大会賞にはきょうだい3人で治療中の佐藤真夕さん(16歳/福岡)の『GROW UP!』が選ばれました。

各賞の発表と賞状の授与、花束の贈呈の後、ステージ上で行われた受賞者の皆さんとのクロストークでは、それぞれが晴れやかな笑顔で受賞作品に込めた想いや将来の夢などを語っていただきました。



#### 最優秀賞『押忍』

田中雲雀さん(16歳/兵庫)



応募写真は、空手の練習帰りに家の玄関で撮ったもの。母に応募したらといわれて、自然に選んだのがこのシーンです。空手の得意技は膝蹴り。将来はアクション女優になるのが夢です!

#### 【応募コメント】

歯並びと少し出っ歯な所が気になり矯正歯科医院を紹介してもらい治療中です。装置を取り付けた時は少し痛かったけど、少しずつ歯並びが良くなっていくのが目に見えてわかるので仕上がりが楽しみです。

#### 優秀賞『私の夏休み~2022~』

我妻ゆきのさん(24歳/埼玉)



去年の夏、金沢への旅行中に撮った1枚です。現地で借りた着物がきれいだったので、小道具に頼らず、笑顔だけで勝負しようと思いました。受賞できてすごく嬉しいです。

#### 【応募コメント】

この夏、行動制限が無くなり旅行先で夏らしいことをたくさんしました♪ 矯正をはじめの前は口元を気にして隠して笑っていましたが、今は綺麗に並んできたので思っきり笑うことができ嬉しいです!

#### 大会賞『GROW UP!』

佐藤真夕さん(16歳/福岡)



治療を始めたばかりの6年前の写真を持っているのが私です。こうして見ると、きょうだい仲がよさそうですが、姉(中央)と弟はケンカばかり。猫を入れて、なんとか中和して撮った写真です!

#### 【応募コメント】

誕生日が一緒の私達3つ子は、歯並びの悪さまで一緒。小学生の頃から3人一緒に治療を始めました。当時の写真をこうして眺めると、大きくなったなど実感します。高校生活を満喫して、もっと成長していきたいと思っています。

## 「第18回 ブレスマイルコンテスト」の 舞台裏レポート

受賞者の皆さんに、治療を始めたきっかけや受賞作品に込めた想い、ブレス（矯正装置）が取れたらしてみたいこと等をうかがいました。そのリアルな声をご紹介します。

### 空手×矯正歯科治療=憧れの未来へ！ 最優秀賞『押忍』田中雲雀さん

空手は5歳から始めたので、もう10年以上続けています。私がやっているのは「フルコンタクト空手」といって、結構ハードな“戦う空手”です。練習では小学生から大人まで幅広い相手と組み、男女も関係ありません。ですからケガはしょっちゅうですが、試合で優勝できたときは達成感があり、それが空手の楽しさにつながっています。受賞作品で私の後ろに写っているトロフィーや賞状は、これまでの成果の一部。なかには大きな大会のトロフィーもあるんですよ。



私はもともと出っ歯で、下の歯もガタガタしていて、それがコンプレックスでした。なので矯正歯科治療はやりたかったんです。ブレスをつけた当初は痛くて空手にも集中できませんでしたが、だんだん痛みにも慣れ、今では歯並びも揃ってきたのでワクワクしています。これからも空手を続けて、きれいな歯並びになって、将来は清野菜名さんみたいなアクション女優になりたいです。

私

はもともと出っ歯で、下の歯もガタガタ



#### ★主治医コメント

雲雀ちゃんがブレスをつけて今で約1年。これから奥歯を前方に動かして、咬み合わせを整えていきます。受賞作品は最優秀賞にふさわしい晴れやかな写真。今回の受賞をよい記念として、後半の治療も頑張ってください！

### 治療を始めた6年前より、ちょっと大人になれたかな 大会賞『GROW UP!』佐藤真夕さん

私が手にしているのは、今から6年前の、小学4年生のときの写真。きょうだい3人で一緒に矯正歯科治療を始めて2年目くらいのときです。その後、中学になっていったん装置を外し、高校1年の夏にマルチブラケットをつけた二期治療が始まりました。小学生のときは自分の歯並びに何の関心もなかったのですが、歯並びが整うと横顔もきれいになるし、笑った顔にも自信が持てるから、今はやっておいてよかったとすごく思います。



実は、6年前にも「ブレスマ」に応募したことがあるんです。そのときは残念ながら受賞できませんでしたが、今回、昔の写真と今の写真で受賞できて嬉しいです。きょうだいゲンカはしょっちゅうですが、こうして昔の写真を見ると3人の顔の距離が近くて仲がよさそう。今は少し間隔が空いていて、ちょっと大人になったかな(笑)。



#### ★主治医コメント

治療中の患者さんがこんなふうに評価される機会はあまりないことですから、真夕ちゃんたちごきょうだいの受賞は主治医としてとても嬉しいこと。治療のラストサポート、がんばりましょう。

### 受賞作品が 決まるまで

2022年7月1日(金)～8月31日(水)の「第18回ブレスマ」の募集期間中、矯正歯科医院の掲示板や地域の新聞、SNSなどでの告知を受けて、続々と集まった応募作品。9月15日(木)には全394作品を机に並べ、主催である日本臨床矯正歯科医会や関連団体の代表者らが一次審査を行いました。そこで入選12作品に絞り込み、後日、日本矯正歯科学会の会場と本会公式サイト内での投票の上、受賞3作品を決定。受賞者には以下の賞金が授与されました。



- ★最優秀賞：賞金10万円
- ★優秀賞：賞金5万円
- ★大会賞：賞金3万円
- ★入選：QUOカード5千円分

### かつてのコンプレックスが解消され、笑顔に自信 優秀賞『私の夏休み～2022～』 我妻ゆきのさん



以前の歯並びは上の前歯が内側にねじれたように生えていて、高校の頃からそれがコンプレックスでした。また、歯並びの悪さからむし歯も多く、子どもの頃から歯科医院に通うことが多かったですね。ですから矯正歯科治療は受けたかったのですが、費用が高いというイメージがあって。働き出して自分で治療費が払えるようになった22歳から、治療をスタートしました。いざ始めると、口内炎ができたり、ものが食べにくかったりしますが、治したい気持ちのほうが強いので平気です。



「ブレスマ」に応募した写真は、旅行で行った金沢で撮ったもの。応募用いろいろなシチュエーションで撮影しましたが、自分の笑顔だけで勝負したくて、これにしました。こんな笑顔の写真は、かつてはなかったもの。治療中ですが、今は自分の口もとに自信がついたので、歯を見せて笑うことができます。それって、とっても大きな変化ですよ。

「ブレスマ」に応募した写真は、旅行で行った金沢で撮ったもの。応募用いろいろなシチュエーションで撮影しましたが、自分の笑顔だけで勝負したくて、これにしました。こんな笑顔の写真は、かつてはなかったもの。治療中ですが、今は自分の口もとに自信がついたので、歯を見せて笑うことができます。それって、とっても大きな変化ですよ。

#### ★主治医コメント

もともと前歯のデコボコがあり、親知らずだけを抜歯して治療しています。ブレスをつけたのが3年ほど前で、治療ももう終盤。受賞作品は我妻さんらしい華やかな笑顔が素敵ですね。



「第18回ブレスマイルコンテスト」表彰式の様子は、本会公式サイト内「トレンドウォッチ」をご覧ください。

今年始まる「第19回ブレスマ」の情報は、公式ホームページに6月頃発表の予定です。QRコードよりご覧ください。

